

小川村と連携協定調印

地域連携センター長 小林敏枝

2月3日、本学において小川村との連携協定の調印式が行われました。同村からは大日方村長、村越副村長、高山教育長他関係者3名が参加し、本学からは学長、副学長、国際コミュニケーション科

教員、地域連携センター長・委員、事務局長が出席しました。小川村ワールドワークに参加した学生にもお手伝いいただき、和やかな雰囲気の中進行しました。小泉ゼミのワールドワーク、小川村安心子ども基金事業などはすでに実施されており、また今回調印のきっかけとなった農産物直売所「さんさん市場」の情報誌作成については基礎調査などが始まっています。昨年の清泉祭での野菜やおやきの販売も、大変好評でした。

していきます。調印がスタートです。今後の成果が期待されます。



小川村ワールドワークに参加して

人間学部3年 西村美千代

「小川の庄」では、昔ながらのおやき作りを体験しました。野沢菜や卵の花などを皮いっばいに詰めていろりで焼きます。その皮から具が出そうになるほど、皮にヒビが入ることを「おやきが笑う」というそうです。この表現にあたたかさを感じました。

おやきを作りながら、昔の話をお聞きしました。おやき村村長

平成22年度 オープンカレッジのご案内

■公開講座

中学生と親のための「たてなおしの英語」	田村亮子
American Roots Music	中村洋一
保育現場における「気になる」子どもの支援について	田中秀明
幼児へのカウンセリングについて	
親子で作ってあそぼう! ～木の工作遊び～	桜井 剛
Carol Cantabile クリスマス・キャロルを歌う	高橋正道 トーマス・ジョエル 斎藤広子
元気づくり—操体法を学ぶ	小林房子 白沢馨三
キリスト教宣教師とその課題	古橋昌尚
測定と評価を考える	中村洋一
サリンジャーの短編を読む	古橋昌尚
第12回映画を読む～続・映画館の暗がり～	芝山 豊
芭蕉・蕪村・一茶の世界	玉城 司
高齢者のための人間科学—いつまでも若々しくあるために—	田中秀明
心くばりのできる話し方	傳田亮文
マナー講座～日常のマナー～	高沢貴子
故事成語(成語典故)	張 淑華
民話・神話・笑話で中国語を習おう	張 淑華
中国四大美人	王 秋菊

■長野県カルチャーセンターとの連携講座

物語の深層	田村俊輔
やる気の心理学	高崎文子
錯視の不思議	寺門正顕
自分育ての心理学	眞栄城和美
記憶の不思議を探る	中澤保生
家族関係の心理学	眞栄城和美
傾聴法を学ぶ	伊藤菜穂子
コミュニケーションの心理学	中澤保生
睡眠の心理学	寺門正顕
ここからからだの心理学～ストレスをうまくコントロールしよう～	寺門正顕
イギリスへの旅～歴史と文化を訪ねて～	村田信行
Traveling in the USA.	トーマス・ジョエル
オーストラリアの世界遺産と多文化社会	飯田由己子
「自由の女神」と American Roots Music	中村洋一
ことばの世界へようこそ	飯田由己子
グレート・ジンパブエへの誘い	小泉真理
東南アジアと南アジアを往く—壮麗なる遺跡と人々の活力—	室井美穂子
ローマ～西欧文化歴史の旅～	田村亮子
Canadian Treasures	パーチ・グロリア
モスクの美と出会う—ソフト・イスラムの国々—	室井美穂子

詳細については地域連携センターへお問い合わせください。

権田さんは、高齢者雇用における会社の配慮について「大変良いことだ」と思う。ここがあったから働けるし、元気でいられる」と話してくださいました。元気がいいのおやき村の方々から、私たちも美味しいおやきと元気をいただきました。

「さんさん市場」では、市場を始めようと思っただけをお聞きして、勉強会に参加するなどとても熱心に努力されていることを知り、すごいパワーを感じました。お話をしてくださったカネキさんは「たとえ1か月に1万円でも、なんとも言えない達成感。高齢者が生きがいを感じてくれれば」と話してくださいました。市場のみなさんの「人が好き」という気持ちとチームワークの良さが、あのようなお客様に愛される市場に育てたのではないかと感じました。

清泉女学院・生涯学習では、昨年10月、上野・三才地区の皆様を中心とした映画上映会を本学で行い、「花はどこへいった」を上映しました。上映会には、20歳代から80歳代までの幅広い世代、80名ほどの方々にお集まりいただきました。また、この日は、この映画の監督である坂田雅子氏もお迎えし、映画制作の秘話や、ベトナムの人々が今日も枯葉剤と戦い、その現実を受け入れながら家族を支えあっている姿を語っていただきました。

映画上映と講演会を終えた会場は、三世代後までも続く枯葉剤による多くの奇形児の悲惨な現状を

知り、戦争の恐ろしさと、平和の尊さを噛みしめました。また、二度とこのような戦争による悲劇を起こしてはならないといった、祈りではないになりました。

次年度も、清泉女学院・生涯学習では、「映画会」を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



坂田監督の講演

上野・三才地区発信生涯学習

映画「花はどこへいった」 上映会&映画監督・坂田氏の講演会

国際交流&ボランティアティア活動

国際交流

インターナショナルカフェ

12月2日、CEP主催でインターナショナルカフェを開催しました。今回はオーストリアから来日中の山口春絵さんをお迎えしました。在学、開放講座の方、先生方などの多くの人達に来ていただき、楽しく交流することができました。



オーストリアの伝統菓子「カイザシュマーン」づくり

当日は「カイザシュマーン」という伝統菓子を作り、春絵さんのバイオリンを聞きながら料理を食べました。オーストリアの伝統料理を作ることで、同じ文化に触れることができ、また、



山口さんのバイオリン演奏

バイオリン演奏会は春絵さんが幼いころからバイオリンを習っていたこともあってとても上手でした。おしゃやかな東欧の雰囲気に参加者の皆さんにも楽しんでいただけたと思います。次回も、すてきな会ができるように頑張りたいです。

国際交流

It's a Small World

―千歳公園の小さな旅―

人間学部3年 塚原千佳

10月4日、秋晴れに恵まれた街中に鬼島太鼓の力強い演奏が響きわたりました。文化交流プログラムによる、第3回国際交流イベントがにぎやかに開幕しました。

今年は、各国の味を味わいながら音楽を楽しみ、また、市民の方には国際的な取り組みに興味を持ってもらうことを目的としたプログラムにしました。トーマスゼミの方々や有志の方を募り、フェアトレード商品を作成していただき、多くの方のご協力を得てイベントの準備が進みました。また、

学校でも取り組んでいる「TFT」の活動で現地の子どもたちに提供される「ポショ」を無料で提供しました。

当日は多くの方に足を止めていただき、その国の味や雰囲気を楽



しんでいただけたと思います。フラメンコの発表では、観客の皆さんを巻き込んだプログラムで、舞台と観客の方々がより一体になったと思います。

秋の夕暮れに、静かに力強く流れる二胡の演奏で幕を閉じた今回のイベント。たくさんの方の心に残るものになったのではないのでしょうか？

多くの方々のご協力のもとに成功しましたことを、深くお礼申し上げます。

ボランティア

母校で学習チューター活動

人間学部3年 原真祐子

私は09年7月から、母校である下氷鉤小学校で、週1回、学習チューターとして活動しています。同校で活動している学習チューターは私一人なので、今までに7クラスに関わらせていた

きました。お陰で、こちらが名前を覚えきれないくらいたくさんの方の児童に私の名前を覚えてもらい、子どもたちだけでなく、先生方にも歓迎していただき、楽しんで活動しています。

チューターを始める前は、自分が何かをしてあげなければいけないというプレッシャーがありました。が、チューター担当の教頭先生に「楽しんで、児童から学べばいい」と言っていたいただき、今は純粹に児童と関わることを楽しんでいます。

私自身は、この活動が負担だと思っただけではなく、逆に本当に学べる機会が多くて、毎回の刺激をいただいています。これから多くの人にチューターの活動に参加してもらえたらと思います。



21年度ボランティア報告会のようす

ボランティア

松代藩真田十萬石まつりに参加

幼児教育科2年 友田千晴

10月10日に「松代藩真田十萬石まつり」のボランティアに参加しました。たくさんのお店が出ていて、会場である文武学校は、朝から大勢の人たちで賑わっていました。

私たちは着物の着付けをしていただき、「町娘」として、おやきや野菜などの販売を行いました。最初は慣れなかった接客にも次第に慣れ、「おやきはいかがですか〜」と大きな声を出したりして、買い物に来てくださった方々と話をする余裕も出てきました。町娘になりきり、江戸時代の町をイメージした空間で、まるでタイムスリップしたかのような感覚でした。普段あまり体験できないことなので、楽しくとても良い社会勉強になったように思います。

また、松代の方々はとても優しく温かな方ばかりだったので、すぐになじむことができました。このような松代の伝統ある行事に参加させていただけたことは、忘れられない貴重な体験になりました。



「町娘」に扮して食べ物を提供